

関西広域連合環境保全局 エコツアーアンケート結果

【実施日】 平成 29 年 2 月 1 日(水)

【回答数】 18 名分

【行 程】 9 時 10 分南草津駅出発～18 時 00 分大阪駅に到着。
以下の目的地を訪問した。

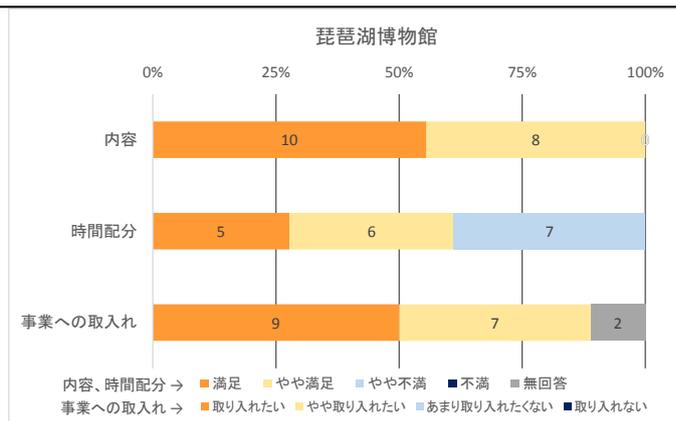
- ①琵琶湖博物館
- ②あやめ荘、家棟川観光船
- ③南郷洗堰
- ④鵜殿ヨシ原
- ⑤水生生物センター

設問2 本ツアーで訪問した目的地について

琵琶湖博物館

滞在時間：1時間5分(9:50 - 10:55)

内容：①セミナー室での講義（関西活かしたいエリアの紹介、本ツアーの目的、琵琶湖博物館の概要）
②館内展示の見学（水族展示コーナー）



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 展示内容は大変良くできていますと思います。(旅行会社)
- ・ 講義、館内案内適当な時間。(活動団体)
- ・ 充実した展示内容だった。(活動団体)
- ・ リアルな環境に近い展示はとてもインパクトがあった。景色の美しさも売りになるだろう。(活動団体)
- ・ 時間が十分にほしい。(研究者)
- ・ リニューアル後に一度来館しているが、どのようなコンセプトでつくられたか等知ることができて良かった。(行政)
- ・ 丸一日使った博物館ツアーでも十分楽しめそうです。(行政)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 旅行商品に適したツールの一つ(旅行会社)
- ・ リニューアルされていたが、その部分のアピールがほしかった。(旅行会社)
- ・ もっと時間がほしかった。中井主幹の解説が良かった。(研究者)
- ・ 解説を聞きながら、ゆっくり見たかったです。(行政)
- ・ 生物多様性の説明も分かりやすく良かったが、もう少し琵琶湖や淀川に特化した内容でも良かったかなと思います。(行政)
- ・ 博物館でありながら、水生生物(魚)の展示が充実していた。(行政)

□ 「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□ 「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 時間配分・説明内容の量

「満足」と回答した方の理由・意見
なし

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・もう少しゆっくりと展示を見たかった。博物館のアピールポイントが感じられた。(活動団体)
- ・もう少し時間がほしかった。(研究者)
- ・セミナーの時間をもう少し短くして、展示を見る時間を少し長くするほうが良かったです。(行政)
- ・説明時間が少し短かった。(行政)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・展示の説明を中心にしておしかったです。一通り全体を観たかった。(旅行会社)
- ・プレゼンツアーだからしかたないだろう。(活動団体)
- ・もっと解説を聞きたい。(研究者)
- ・もう少し時間をかけて見たい(研究者)
- ・もう少し見学の時間がほしかった。(研究者)
- ・もう少し時間がほしい(行政)

「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ダイナミックな展示とフィールドにすぐ接続できる立地が魅力。(活動団体)
- ・琵琶湖のメインとして必須。(活動団体)

「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・既にツールのひとつになっている。(旅行会社)
- ・体験を加えること(子供、又は大人とセット)(活動団体)
- ・展示を見るだけでなく、セミナー等組み合わせると、より理解が深まるので良いと思います(行政)

「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
なし

「取り入れない」と回答した方の理由・意見
なし

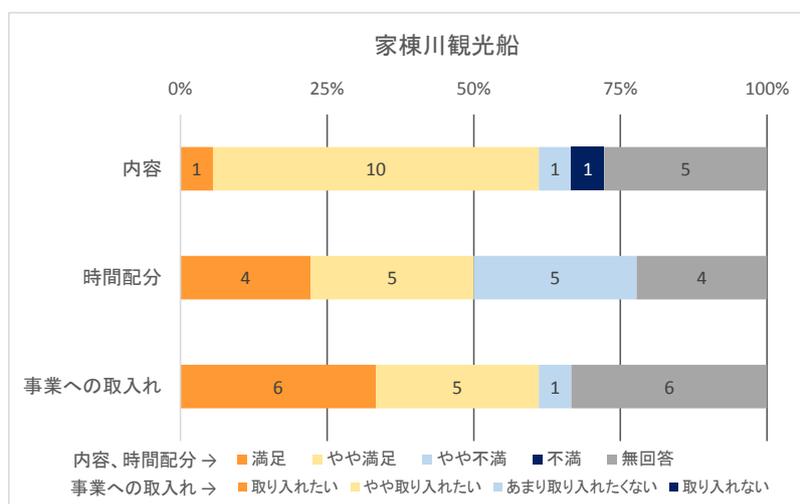
○まとめ

- ・参加者の展示施設への関心が高く、事業、旅行商品への取入れに前向きな回答が多かった。
- ・展示コーナーの見学時間が短いと回答する人が多かったので、セミナー室で行った説明内容の一部をバスの移動時間に行う等の改善ができると思われる。

家棟川観光船

説明時間：15分（12:05 - 12:20）

内 容：家棟川観光船の紹介、琵琶湖の漁の移り変わり、家棟川のみどころ



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・松沢さん(NPO 家棟川観光船代表)のお話(活動団体)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 季節が合えばゆっくりと楽しめそう(旅行会社)
- ・ 船に乗りたかった。船上で船頭の方とじかにお話をできることが大きな魅力になる。(活動団体)
- ・ 実際に乗って見たかった。(研究者)
- ・ 良いシーズンに行ってみたい。(研究者)
- ・ 実物が見たかった。(行政)

□ 「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・ 見学していないから。(旅行会社)
- ・ 観光客を受け入れるには駐車場、トイレ関係の整備が必要。(旅行会社)
- ・ 実際に船を見ることができれば良かったが、イメージが難しかった。(研究者)

□ 「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・松沢さんのお話の内容(活動団体)
 - ・地元の方に説明していただいたので、良さと問題やそれに対する取組みがリアルに聞けた。(活動団体)
- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
 - ・実感がわからない(研究者)
 - ・観光船に乗るものと勘違いしていました。(行政)
- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
 - ・実際に観光船をみたかった。(旅行会社)
 - ・プレゼンツアーだからしかたないだろう。(活動団体)
 - ・観光船を実際に見てみたかったです。(行政)
- 「不満」と回答した方の理由・意見
 - ・実際に観光船をみたかった。(旅行会社)

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

- 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・船に乗ることが大切(活動団体)
 - ・船に揺られながら自然を感じられるなら魅力的。(活動団体)
- 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・距離と値段的に難しく感じます。(行政)
- 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
 - なし
- 「取り入れない」と回答した方の理由・意見
 - なし

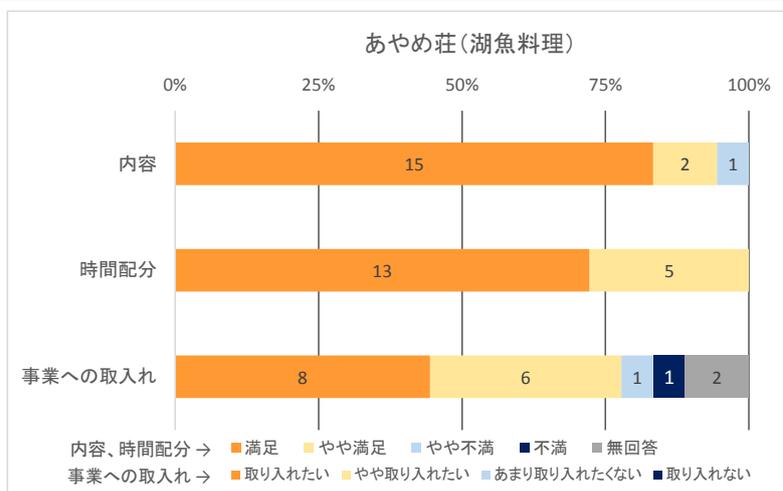
○まとめ

- ・現物をみていないので、実感がわきにくいとの回答が多かった。説明よりも現物を見ること、体験すること機会を設けることが重要であると考えます。
- ・事業、旅行商品への取入れについては、本ツアーの内容に満足する回答数よりも取入れに前向きな回答数が多いことから、参加者の観光船事業への関心は高いと考える。

あやめ荘 (湖魚料理)

食事時間：30分(11:30 - 12:00)

内 容：湖魚料理(2,000円程度)の食事



Q1 体験、見学した内容の満足度

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・子供のころを思い出しました。(旅行会社)
 - ・地元産にこだわりがあり、ならではで美味しかったです。(旅行会社)
 - ・近江八珍に近いもの、本物(活動団体)
 - ・珍しい料理を楽しめました。(活動団体)
 - ・地元の伝統料理を頂けたのは貴重な体験だった。交通が少々不便なのが課題だと思う。(活動団体)
 - ・お話が最高に良かった。(活動団体)
 - ・非常に手のこんだ地元の料理で、生態系サービスの利用について昔からの方法を学んだ。(研究者)
 - ・気軽に立ち寄れる料理屋があればもっと良い(研究者)
 - ・初めて食べるものもあり、特別な体験でした。(行政)

- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
 - ・ワカサギの天ぷらは後からでも温かいものを出してほしい(旅行会社)
 - ・料理が高く感じた。川魚食文化広く伝えるには、ハードルを低くしたほうが良いと思う。(研究者)
 - ・珍しい、貴重な料理が食べられて良かったです。(行政)
 - ・地域特有の料理が食べられてとても満足しました。(行政)
 - ・琵琶湖の魚などを使っており、地域の自然のめぐみ分かる内容でした。(行政)

- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
 - ・団体に対応できていない(旅行会社)

- 「不満」と回答した方の理由・意見
 - なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・落ち着いて、味わって食べる時間があった。(活動団体)
 - ・ちょうど良い(研究者)
- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
なし
- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
なし
- 「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

- 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・地元の人の料理の説明がほしい(活動団体)
 - ・伝統的な郷土料理が本格的に食べられる場という意味で、価値があると思う。(活動団体)
 - ・非常に重要だと思われる。(研究者)
- 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・ツアーなら少々料金が高くても OK か?(研究者)
 - ・距離と値段的に難しく感じます(行政)
- 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
 - ・個人や少人数グループ向き(旅行会社)
- 「取り入れない」と回答した方の理由・意見
なし

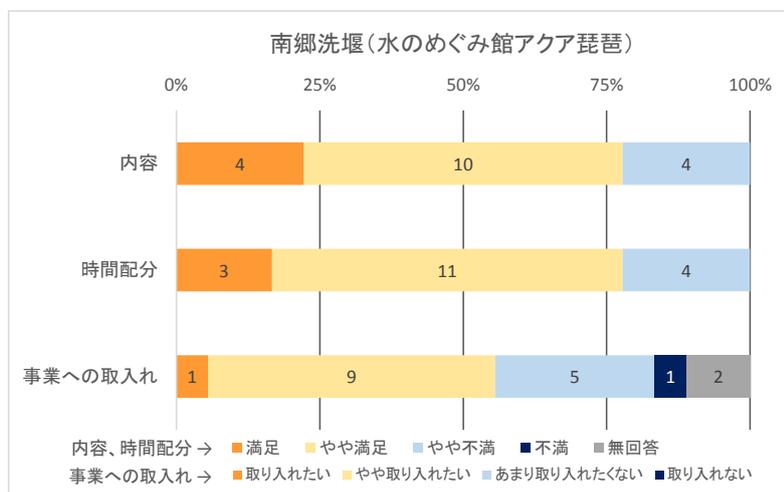
○まとめ

- ・琵琶湖の湖魚料理を食べられる内容に満足する回答が多数を占めた。
- ・事業、旅行商品等への取り入れは、団体対応が十分にできていない、温かい料理が提供できていない、価格面等の理由から否定的な回答があった。料理内容(食材)への満足度が高いので、団体対応が可能なメニュー、受入体制をつくることにより、改善が図れるものと考ええる。

南郷洗堰

説明時間：30分（13:25 - 13:55）

内 容：琵琶湖・淀川水系の治水事業、環境に配慮した水位管理の説明



Q1 体験、見学した内容の満足度

- ・「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・水にまつわる歴史少し長すぎたが（活動団体）
 - ・初めて入館したが、またゆっくり来てみたい。（活動団体）
 - ・琵琶湖、淀川水系の歴史を模型も含めて体感できた。（活動団体）

- ・「やや満足」と回答した方の理由・意見
 - ・旅行ツールには使いやすい。（旅行会社）
 - ・淀川の治水についてよく理解できました。（旅行会社）
 - ・琵琶湖と流域の関係性をよく理解できました。（旅行会社）
 - ・水域の理解を深めるにはいいが、やや硬い。（研究者）
 - ・琵琶湖と淀川等下流とのつながりを広域に学べて良かったと思います。（行政）

- ・「やや不満」と回答した方の理由・意見
 - ・エコツアーへの絡め方が難しかった。治水システムだけでなく文化遺産的なアプローチもほしい。（研究者）
 - ・話が難しかった。（研究者）

- ・「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- ・「満足」と回答した方の理由・意見
なし

- ・「やや満足」と回答した方の理由・意見
 - ・少しお話が長かった。(活動団体)
 - ・歴史と治水や環境保全の工夫についてよく分かった。(活動団体)
 - ・ざっとでいいので、展示を見ればより良かったかなと思います。(行政)

- ・「やや不満」と回答した方の理由・意見
 - ・もう少し分かり易く(研究者)
 - ・説明が少し長い (プレゼンとパネルでの説明が同じだった。) (研究者)

- ・「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

- ・「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
なし

- ・「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・すでに取り入れている。(旅行会社)
 - ・体験でないと展示だけでは。(活動団体)
 - ・行程上にあれば取り入れたい。(活動団体)
 - ・琵琶湖と淀川とセットで見学できるのであればぜひ取り入れたいが、優先度は低い。(行政)

- ・「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
 - ・治水のみでは、おもしろみに欠ける。(活動団体)

- ・「取り入れない」と回答した方の理由・意見
なし

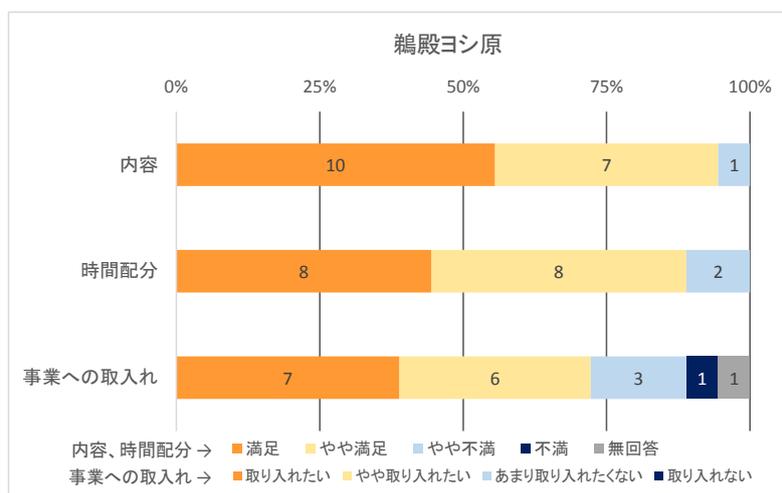
○まとめ

- ・琵琶湖、淀川水系の治水事業への説明が多く、参加者の回答結果が分かれた。
- ・説明内容が専門的、硬いと感じる回答が多かったので、一般受けする柔らかい内容、琵琶湖河川レンジャー等の活動団体にガイドを要請することで改善できると考える。

鵜殿ヨシ原

説明時間：1 時間（15:00 - 16:00）

内 容：ヨシ原保全事業、ヨシ刈体験、ヨシと人とのかかわり（商品、楽器の紹介）



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・現場に立つ意味大、ボランティア活動(活動団体)
- ・歴史を感じました。(活動団体)
- ・河川レンジャーの方々に詳しく説明していただいたため、細かく分かった。実際にヨシ原に入るのは刺激的で良い。(活動団体)
- ・ちょっと体を動かされるのがツボ(活動団体)
- ・体験型は良い(研究者)
- ・ヨシ刈を初めて体験でき、また、ヨシとオギの違いも実際に近くで見られたので、理解できたと思います。(行政)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・広すぎのと、ポイントがしぼり難いか。(旅行会社)
- ・河川レンジャーさんの話も面白く、ヨシ原についても学べたが、エコツアーにどう取り組むかが難しいと感じた。(研究者)
- ・実際にフィールドに立ち入れるのが良かった。(研究者)

□ 「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・もの足りない、ヨシ焼きが見てみたい。(旅行会社)

□ 「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・ボランティアの知識、熱量(活動団体)

- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
 - ・河川レンジャーなど実際に関わられている方のお話が聞いた点が良い。(活動団体)
 - ・細かいバス移動が多く、外での時間がもっとほしかった。(研究者)
 - ・歴史のはなしがあればよかった。(研究者)

- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
 - ・もう少しゆっくり見たい。(研究者)

- 「不満」と回答した方の理由・意見
 - なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

- 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・たっぷり時間をとってツアーを。(活動団体)
 - ・自然のヨシ原に踏み込んで活動する体験は貴重。(活動団体)
 - ・現場なので(活動団体)
 - ・大阪にこんなところがあったのかとインパクト大。保全団体も関わっていて、エコツアーから保全活動にむすびつきやすい。(行政)

- 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・魅力的だが、一般に受け入れられるか疑問が残るので、専門家が必要。(研究者)
 - ・アクセスが良くない?(研究者)

- 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
 - なし

- 「取り入れない」と回答した方の理由・意見
 - ・ヨシ焼きは取り入れたいですが、天候で中止になる可能性がある」と、難しいです。(旅行会社)

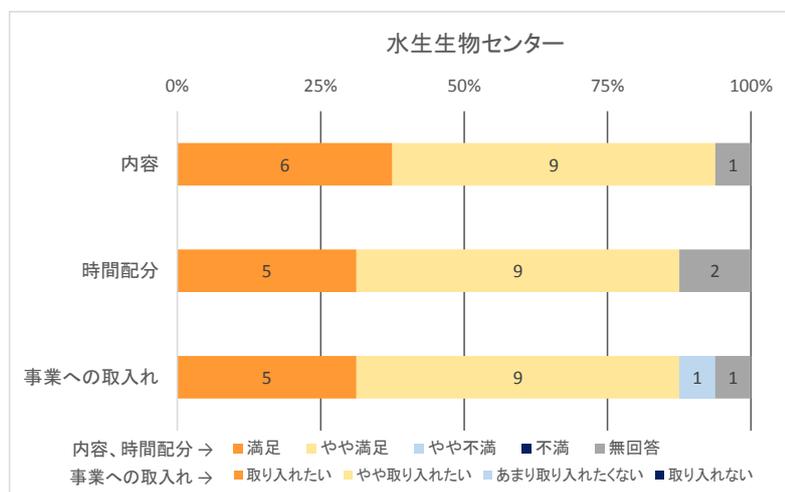
○まとめ

- ・内容については、満足する回答が多数を占めた。
- ・事業、旅行商品への取入れについては、旅行会社は否定的な回答が多かったが、活動団体は全て前向きな回答であった。天候面、アクセス面等で一般人向けの商品として取り扱うことが難しいと考える。

水生生物センター

説明時間：30分（17:00 - 17:30）

内 容：展示室（パネル、イタセンパラ等の水槽）見学、水生生物センターの活動紹介



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 皆さん大変努力しておられます。(旅行会社)
- ・ あこがれの「イタセンパラ」に会えました。(活動団体)
- ・ 野外の施設を持っている点で特徴があります。(活動団体)
- ・ 貴重なイタセンパラを見ることが出来る点が良い。(活動団体)
- ・ 近藤さん(ガイド・講師)がエンターテイナーだった。(活動団体)
- ・ イタセンパラの活魚がみられて良かった。ワンドとセットならさらに良い(研究者)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ H29 新館に期待(旅行会社)
- ・ 少々かけ足だったのが残念(研究者)
- ・ 琵琶湖から始まり、最後は淀川で流れを感じながら学習できたところが良かったです。(行政)

□ 「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□ 「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・(ヨシ笛づくりとの) 組合せが良かった。(活動団体)
 - ・ニーズに応じて専門家に対応してもらえてんがありがたい。(活動団体)
 - ・夏の緑の時期に訪れたいと思いました。(行政)
- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
なし
- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
なし
- 「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

- 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・ビオトープでの体験を入れる。(活動団体)
 - ・天然記念物イタセンパラを間近で見られるセンターやワンドがある点。(活動団体)
 - ・学びと体験が同時にできて良い。(行政)
 - ・池中に入って生きもの採取と観察ができるのが良いと思う。(行政)
- 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・もう一度春に訪れたい(旅行会社)
 - ・建て替えに期待(活動団体)
 - ・昼食時などうまく野外活動とからめれば面白いと思う。(研究者)
- 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
 - ・建て替えに期待(活動団体)
- 「取り入れない」と回答した方の理由・意見
なし

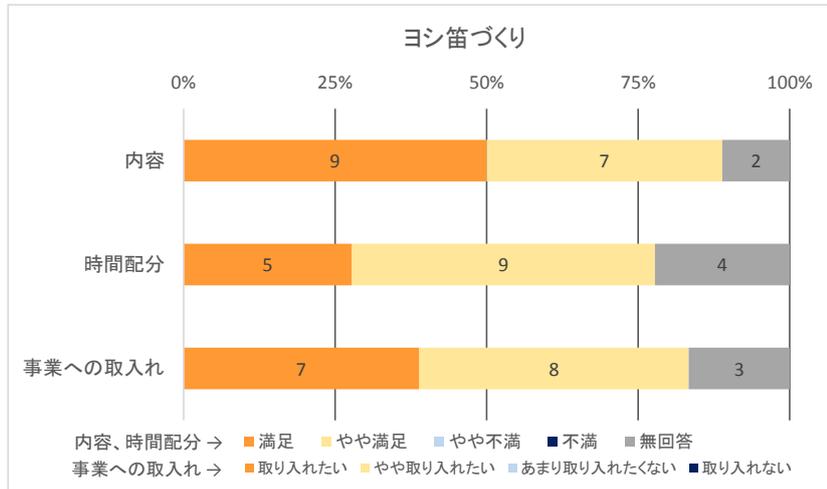
○まとめ

- ・活動団体、研究者を中心にイタセンパラを見学できたことに「満足」とする回答が多かった。
- ・事業、旅行商品への取入れについては、平成 29 年度に予定している施設の立て替え、敷地内の池中での体験活動を重視して「取り入れたい」「やや取り入れたい」と回答する数が多かった。

ヨシ笛づくり体験

説明時間：35分（16:25－17:00）

内 容：グループに分かれてのヨシ笛づくり体験



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・お手伝いいただきできました。(旅行会社)
- ・家に帰って使ってみよう。(活動団体)
- ・要領良く作成できました。(活動団体)
- ・昔ながらの文化を体験できました。(活動団体)
- ・童心に戻れる(活動団体)
- ・楽しかったです。お土産になるのは喜ばれそうです。(研究者)
- ・比較的簡易にできて楽しかった。(研究者)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・手軽で良い(旅行会社)
- ・ヨシを見た後だったので、より興味をもって取り組めたと思います。(行政)

□ 「やや不満」と回答した方の意見

なし

□ 「不満」と回答した方の意見

なし

Q2 時間配分・説明内容の量

- 「満足」と回答した方の理由・意見
 - ・(水生生物センターとの) 組合せが良かった。(活動団体)
 - ・ヨシ笛を2つ作れるほど時間に余裕があった。(活動団体)
 - ・時短できるところはされていて、手軽に体験できた。(行政)

- 「やや満足」と回答した方の理由・意見
なし

- 「やや不満」と回答した方の理由・意見
なし

- 「不満」と回答した方の理由・意見
なし

Q3 事業、旅行商品等への取り入れの可

- 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見
 - ・良かったです。ヨシ笛を吹く名人芸を見たい。(活動団体)
 - ・鶺鴒ヨシ原とセットなら取り入れたい(活動団体)
 - ・簡単で楽しめると思う。(研究者)
 - ・手軽に何か体験して持って帰れるものとしておもしろい(行政)

- 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見
なし

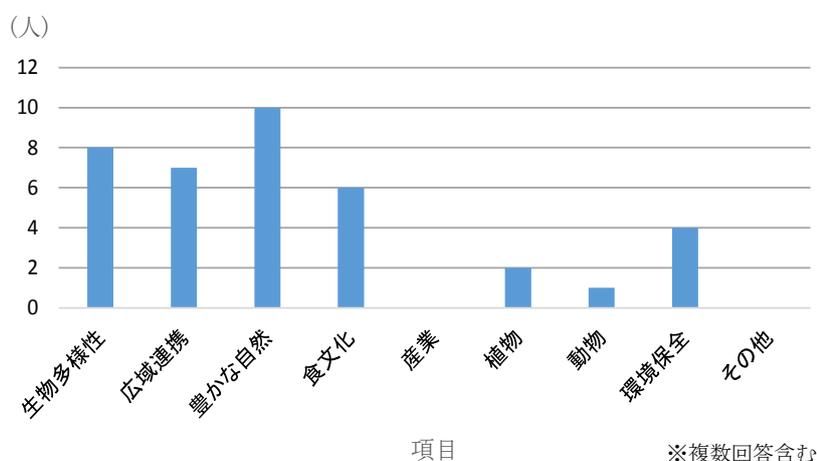
- 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見
なし

- 「取り入れない」と回答した方の理由・意見
なし

○まとめ

- ・予定時間内にヨシ笛をつくることができ、内容に満足する回答が多数を占めた。
- ・本ツアーでの内容や今後の事業への取入れについて、否定的な意見がなく、手軽に体験できる企画が好まれやすいことが分かった。

設問3 本ツアーで理解が深まったことについて、該当するものを○で囲み、その理由についてご回答下さい。



◆生物多様性

- ・生物のつながりの多様性が興味深かった。(旅行会社)
- ・生物多様性という、一般にはわかりにくい言葉を少し絡めて理解でき良かった。淀川水系、地域をつなぐ物語化が必要。(活動団体)
- ・水をつながりから文化、産業、生物の連続性を体感できた。特に多くの生物が生息できる環境の重要性と人間生活を支える生物の多様性を学んだ。(研究者)

◆琵琶湖、淀川水系の広域連携の重要性、

- ・琵琶湖と淀川をつながりを知ったこと(特にアクア琵琶にて)。(活動団体)
- ・産業や教育など社会とつなげながら、自然との関わり方について考える機会をつくることは大切だと感じた。(活動団体)
- ・自然環境は人の手によって保全され、利活用されていることがよくわかった。(研究者)
- ・水の流れに沿って各関連施設で学べた。(行政)

◆琵琶湖、淀川水系の豊かな自然

- ・ヨシ原を初めて訪れた。また箏篋の演奏を初めて聞いた。その印象が大きかった。(研究者)
- ・琵琶湖の整備やそれに伴う生き物の変化について体験しながら貴重なお話を聞いたので。(行政)
- ・琵琶湖博物館から始まり、各地の自然・生物についてたくさん学ぶことができました。またツアーとして各地をまわることで、琵琶湖・淀川水系のつながりも感じました。(行政)
- ・都会のすぐそばの淀川にも希少な生き物がいることがわかりました。(行政)

◆食文化

- ・例えばビワマスは琵琶湖やその周囲の地形があつてこそ生息できる事がわかりました。またビワマスやフナ、あゆといった地域の食材を使い、美味しい料理を提供されていることも知ることができました。(行政)

○まとめ

- ・琵琶湖・淀川水系の豊かな自然と生物多様性のへの理解が深まり、広域連携の重要性が大切とする回答が多かった。

設問4 本ツアーで良かった内容とその理由をご記入ください。

◆プログラム

- ・博物館の役割の大切さや重要性を改めて感じました。ヨシ原に入れたこと。実際に活動されている方の熱心なお話しが聞けて勉強になりました。(行政)
- ・講義と体験がどちらもバランスよくプランニングされていたと思います。各所どこも見どころがあり楽しめましたが、バス内で琵琶湖の説明をところどころ入れていただいたのが、バスでも楽しめて良かったです。(行政)
- ・博物館と料理、地域のことを知ることができました。(行政)

◆広域での連携について

- ・広域連合の横のつながりがあって良い。(旅行会社)
- ・広域で連携していることがわかったこと。(旅行会社)
- ・全体を広く浅く把握できた点で有益でした。行政と他のセクター間の連携・協力ができていることを確認したこと(例：河川レンジャー)。(活動団体)

◆琵琶湖、淀川水系の豊かな自然

- ・生物多様性と淀川水系の関連性をよく理解できました。(旅行会社)
- ・琵琶湖から淀川へ、ヨシつながりで文化や産業を感じられたことは良かった。水、自然の連続性を感じた。(研究者)
- ・山系の仕事をしているので、湖系川系のこと知ることができ、山系に生かせるヒントもあったのでa l l OKです。(活動団体)
- ・琵琶湖、淀川水系にフォーカスしたことで、同じ水系でも異なる環境や生物がいることを学びました。(行政)

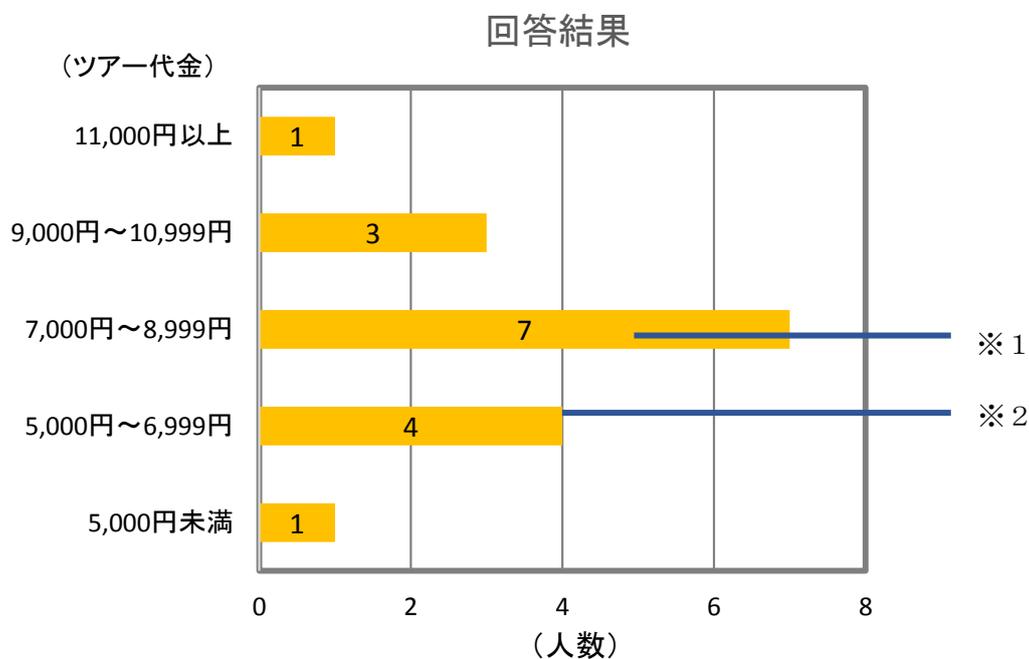
◆食事

- ・漁師料理など、実体験することが多かった点。また、そのものが好きな方が詳しく説明して下さった点。(活動団体)
- ・湖魚料理づくしは通常あまり食べられないので特別感が演出され良かった。会場のロケーション(琵琶湖の眺め)も良かった。(研究者)
- ・地元の料理がはずせないということを実感した。(行政)

○まとめ

- ・講義、施設見学、屋外での体験、食事等多岐にわたるプログラムで、幅広い回答が得られた。

設問5 本ツアーが一般の旅行であった場合、ツアー代金はいくらだったら参加しますか（大阪駅発着）。



※1 今回の参加人数26名でツアーを実施する場合の1人当たりの負担額
(バス代、高速代、駐車場代、入館料、食事代) ÷ 26名 ≒ 7,150円

※2 バスの定員(正規シートのみ)33名でツアーを実施する場合の1人当たりの負担額
(バス代、高速代、駐車場代、入館料、食事代) ÷ 33名 ≒ 6,200円

○まとめ

- ・4,000円~12,000円まで幅広い回答結果が得られた。
- ・7,000円~8,000円の回答が最も多かった。今回のツアーの必要経費を参加者で均等に負担してもらった場合、1人当たりの負担額は約7,150円であり、利益を考えない事業であれば成立するものとする。

設問6 本ツアー（自然エリアを活用したツアー）を商品化、事業化する場合の課題をご記入下さい。

◆テーマ

- ・テーマでの的をしぼり込む必要性。アクティビティ(体験)の選定(活動団体)
- ・ただツアーに参加するだけだと受け身になってしまいがちで、せっかく学んだことや、体験したことが残らないと感じました。また、ツアーに何か1つテーマを持たせるなど1日のツアーの中での一貫性が欲しいと思います。(行政)
- ・どのテーマに的をしぼるか、何を目玉に参加者を募集するかを決定し、他府県にまたがるツアーを各部所と調整する難しさ。(行政)

◆交通

- ・交通の不便をどうカバーするか。(活動団体)
- ・バス駐車場の確保(旅行会社)
- ・大型バスツアーは無理。料理は素晴らしいが(活動団体)

◆食事

- ・季節の花(季節感を出す)、食事(天ぷらをあげたて)。(旅行会社)
- ・食事内容の充実(旅行会社)

◆集客

- ・一般的ではないので、お客様のターゲットを絞っての企画となる(旅行会社)
- ・近いためどの様なトピックでアピールするか(旅行会社)
- ・顧客集め(広報告知)(活動団体)
- ・募集型では集まりにくい。手配型か、教育機関係になる。(活動団体)

◆地域、各団体との連携

- ・話ができて、現場を知っている専門家と地域の協力が必要。(研究者)
- ・自然を概観し、且つ個別の事柄にも対応できるガイド(出来れば地元の人)の育成が必要。受け入れ側のキャパ等による収容力を良く考えないと持続的な利用につながらない。(研究者)
- ・各団体との連携。(行政)

◆行程

- ・訪問施設は1日で2つくらいにしぼり、自由時間を多めにとった方が良いです。学びの場を意識するなら、最後に参加者からのアウトプットがある方が良いです。(行政)

○まとめ

- ・旅行会社は、集客方法と食事内容を課題に挙げる回答が多かった。
- ・研究者はガイドの協力の有無を課題に挙げる回答が多かった。

設問7 琵琶湖・淀川水系エリア図の中に表示されている情報で、興味深い場所、対象はどこかご記入下さい。

- ・宇治川と淀川の境界付近(伏見等)の情報 (旅行会社)
- ・淀川三川合流域「さくら出会い館」・淀川舟運ウォッチング・ウォーキングルート (旅行会社)
- ・各水辺の景観、生物(植物)、食文化全般 (旅行会社)
- ・近江八幡の水郷 (活動団体)
- ・竹生島のタブノキ林 (活動団体)
- ・西の湖などの内湖・針江地区・淀川汽水域 (研究者)
- ・鶴殿ヨシ原・天ヶ瀬ダム (研究者)
- ・三川合流域 (研究者)
- ・淀川の汽水域ワンド (行政)
- ・鶴殿ヨシ原 (行政)

設問8 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題についてご記入ください

◆集客

- ・対象に限られる。人が集まらない。(旅行会社)
- ・販売の時の目玉がない。(旅行会社)
- ・地域と行政と旅行会社との連携が必要。地域の自然資源の魅力をどうやって客に伝えるのかが課題。(旅行会社)
- ・地域の自然をどう魅力的にPRするか広報が難しいと感じます。(行政)

◆地域、各団体との連携

- ・地域の方々のご理解、ご協力。(旅行会社)
- ・紹介者の存在が必要。里山や水源の森など自然と人との暮らしぶりをプログラム化。(活動団体)
- ・地元住民、自治体の協力と理解(研究者)

◆気候、天候

- ・天候、季節。どちらも準備しておくことで、そのときならではの楽しさも発見できる可能性は感じるが、ツアー会社がそこまでして実践するか良さを知ってもらう必要がある。(行政)
- ・季節、天候に左右される。(行政)

◆その他

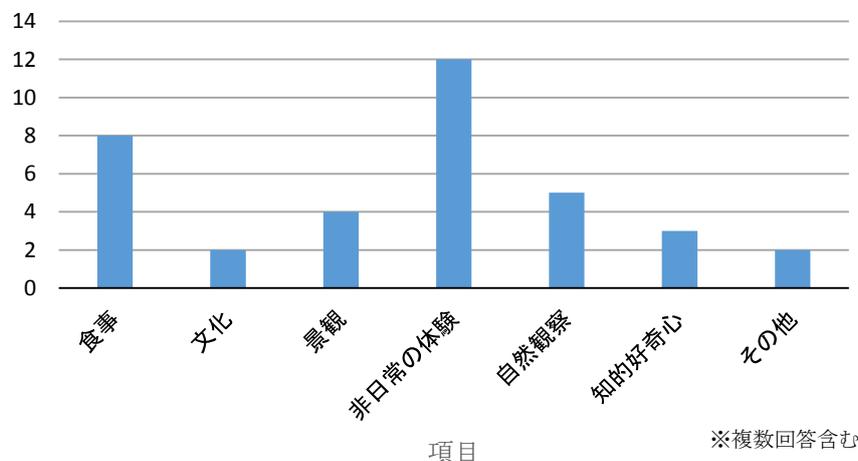
- ・「エコ・ツーリズム」のブランディング化(トレンド化)が重要。(活動団体)
- ・結局は一過性のレジャーツアー・イベントとなってしまう。地域が人が訪れるのを必ずしも望んでいない場合も多い。参加者の中に悪意のあるナチュラルリストが入ってきてツアーをこわしてしまうことも。(活動団体)
- ・観光地に比べて整備されていない場所も多いので、トイレなどの確保に困るかもしれません。
- ・どんな解説をするかによって、面白さが全く異なると思います。(行政)

○まとめ

- ・旅行会社は、地域の自然環境の魅力の伝え方、集客方法を課題に挙げる回答が多かった。

設問9 エコツアーを実施する場合、こういった要素を重視しますか。該当するものを○で囲み、その理由についてご回答下さい。

(人)



◆食事

- ・ 地元の食材を使ったおいしい食事(写真も必要) (旅行会社)
- ・ 地元食 (活動団体)
- ・ 食は直接的でわかりやすい (研究者)

◆非日常の体験

- ・ 一般旅行との差別化のためには、何か体験を組み込みたいところです。(活動団体)
- ・ ハードルは高いがその時だけの感動ではなく、何かにつながっていくような体験を伝えたい。(活動団体)
- ・ 全て大切だと思うが、食事でも観察でも、非日常の体験の重要性は共通している。(行政)
- ・ 参加者に一つでも多くの記憶を残すためには新たな体験や知見を得てもらいたい。(行政)
- ・ 通常感じることのない体験はより記憶に残ると思いますし、次の行動につながる最初の足掛かりとしては良いと思います。(行政)
- ・ 家族と出かける際、非日常といった要素を重視していると思います。近くのカフェに行く場合でも、ちょっとおしゃれな場所であったり、日常では体験できないようなところであれば人は集まると思います。(行政)
- ・ 参加者に体を動かしてもらうことが一番大事だと思います。(行政)

◆その他

- ・ 地元も協力して持続できるかだと思います。(研究者)
- ・ 単独で行ってもわからないことを有識者の人に教えてもらえてさらにおもしろくなる。(行政)

○まとめ

- ・ 食事と非日常体験を重視する回答が多かった。食事、非日常体験ができることを全面にアピールして集客し、知的好奇心を満たすようなプログラムを加えることがエコツアーを事業として成立する上で大切と考えられる。

設問 10 自由記入欄の回答内容

- ・今後の旅行は体験型や研修型が増えてくるのではないかと。それぞれツアー毎に目的を設定することが大事か。(旅行会社)
- ・担当者の方々の努力が目につきました。かなり慎重に準備されたところが伺える。旅行者としては、営業目的に利用するには、集客をふくめて、かなり努力がいらいます。エコツアーについての提案をいただいたことに感謝します。(旅行会社)
- ・季節ごとにどんなツアーが企画できるか教えてほしい。(旅行会社)
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。(旅行会社)
- ・複数のセクターが交流する機運にあることを知って嬉しく思いました。(活動団体)
- ・企画、運営ありがとうございました。かけ足でしたが、大都市も近く魅力的なフィールドもあるエリアでエコツアーの可能性は大きいエリアでしたね。コンパクトにまとまり、日帰りできるのも良いです。和歌山でも可能性を模索したいと思います。(研究者)
- ・地域の自然が消費されるのではなく、上手にヒト、モノ、カネが回るような、持続的な動きになるよう頑張ってください。(研究者)
- ・1日のツアーにたくさんつめこんでいただいたので、各所短い時間でしたが、それぞれの見どころを学ぶことができましたと思います。タイトなスケジュールのなか、事務局の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。(行政)
- ・足立美術館ツアー(日帰り)が大阪からのバスツアーで1万円ぽっきりだった。朝8時出発、夜9時帰着だったが大満足だった。中身が良ければものすごくお得と思う。何かに特化して、取り入れれば満足感のあるツアーができるのではないかと。(行政)